

# 「東日本大震災」対策 news NO.15

2011年3月29日(火)

生協労連震災特設URL <http://cwu.jp/action-cms/shuto/>

全国生協労働組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9

TEL 03-3408-0067 <http://cwu.jp/>

FAX03-3408-8955 QYG03057@nifty.ne.jp

## コープふくしま 共同購入再開へ注文書の配布と物資支援のお届け開始

### ぞくぞく寄せられる生協組合員からの感謝と喜びの声

コープふくしまも共同購入再開に向けて、生協組合員への注文書の配布と支援物資の支給がはじまりました。今週は、商品チラシ「Week」を配布し、4月4日の週に注文書回収、4月11日の週に注文商品の配達を行ないます。

注文書と支援物資を受け取った生協組合員さんからは、感謝と喜びの声が多数寄せられるとともに、「生協は行動が早い」「生協に入っていてよかった」などの声も多数あり、職員の大きな励みとなっています。組合員から寄せられた声の一部を紹介します。

豆腐が食べたかったので嬉しいです　こんなにたくさんありがとう　コープさんも大変なのにありがとう　お米、嬉しかったです　生協さんが来てくれて安心しました　納豆がなかなか手に入らないので、久しぶりにたべられます　もう配達してくれるのかい？　わざわざ来たんですか？

生協に入っていてよかったと言われました。　配達できるの？　物資ありがとう　津波の被害を受けた地区までチラシを届けてくれるなんて、本当にありがとう。生協の組合員でよかったです。　いつも来てくれる担当の顔を見られて嬉しかったです。少しばかりと言って置いてくれていったお米とかジュースありがとうございます　家が半壊して当分利用できませんが、落ち着いたら必ず利用しますので待っていてください

### 被災者支援に全力を上げています

(コープふくしま震災対策ニュースNO.14より)

3月28日午前10時より支部で青空市を開催し、冷凍品、水、カップ麺等を販売しました。相双支部の配送地域には原発事故の影響で避難命令や屋内退避、自主避難を求められている地域があり、配送利用の組合員が4,000人から1,000人程度に減ってしまいました。また、これらの圏外であっても物資が滞りスーパーも開いていない状態です。今日は相馬市、南相馬市から約100人が詰め掛け、用意した商品を次々に買い求めていました。

原町区から来た組合員さんは「自主避難地域になっていてどこにも食べ物が無い状態でしたので、とても助かりました。」と喜んでいました。また、原町区の職場で共同購入を利用していた組合員さんが、相馬市の自宅での個配利用できるよう手続きをしてくれました。

さらに、「水はあっても具材が無い！」と言う声に応え急遽豚汁のサービスもしました。渡辺理事と相馬スパイスコープ委員さんがご協力してくれました。

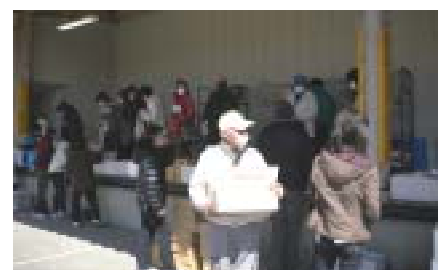
(相双支部長 佐藤哲夫記)



アツアツの豚汁に、ホッとひととき。



信用組合の看板と柱だけが残る建物



品物を手に入れて、ひと安心

## みやぎの共同購入再開支援に入ったコープネット労組豊島委員長(生協労連副委員長)からの報告



本日は、同乗してメンバー 組合員 宅を回りました。気仙支部は支部長(センター長)と副長をのぞいて全てパートの方々です。

私は、6時間パートの方の同乗でした。私たちの役割は、治安が悪くなっているところもあるので、一人でなく二人で行くこと。いつもと全く違う訪問なので、安全にそして少しでも緊張を和らげるようにすること、などでしょうか。

今日は、津波の被害のほとんどなかった地域でした。

しかし、どこも停電と断水と言うことでした。なかには、「やっと電気が通じた」と喜ばれている方もいました。配達再開に向けて、注文書とクロワッサン、秋刀魚缶、野菜スティックやお菓子の詰め合わせを「支援物資」としてお届けしてきました。文書は、食料品198アイテムだけでしかもOCRには商品名は記されておらず、カタログには写真がないものでした。

メンバーには、継続利用の意志と置き場所を確認すること、利用を休む場合はその期間などを聞くこと、そしてご家族等の安否確認をお聞きしてきました。比較的被害が少なく、ほとんどの方がご在宅でした。しかし、すぐとなりをみると、流されてきた瓦礫だらけの土地が広がっていました。同乗したパートさんは、ご自身の家は流され跡形も発見できないそうです。車も見つけれないと言っていました。幸いご家族は無事で、親戚の家に避難しているそうです。何度も、夢であつたらいいのにと、思うそうです。



## みやぎ生協労組と店舗支援に入った関東地連土屋書記長からの報告

土屋は、今日28日15時に仙台につきました。本部の被害状況を見た後、18時から毎日開催されている労使打ち合わせに参加しました。明日は、店舗の4月1日からの通常営業再開に向けて、プライスカードつけなどの支援に朝7時から入ります。

労使打ち合わせの中で話された状況によると、日々、落ち着いてきているという話で、通常の共同購入配送や店舗営業に向けての準備が進められています。「通常」といっても、枠組みであり、店も共同購入も商品は全然揃いませんが・・・。

安否確認は進み、現状11名をのこすのみとなりました。現在共同購入の職員パートで51人が自宅がいの親類や避難所から出勤しており、店舗も含めると400人を超えるのではないかと予測されています。現在出勤していない職員・パート職員が500名いるそうです。

労使共催で、職員パート職員向けの生協の震災被害支援や行政の制度の説明などの説明会相談会も30日以降順次計画されています。その他、上期を復旧期、下期を復活期として取組んでゆく、ステーキホルダーへの情報提供のスケジュール、被災者義捐金募金に取り組むこと、総代会を延期するなどが、報告されました。

**すべてのなかまに募金を呼びかけましょう  
物資支援についてもご協力をお願いします**